

エネチャレの感想

児童の声・保護者の声

○本プログラム実施後、おうちアンケートによる児童とおうちの方の声を無記名で収集します
○収集した声は学校単位で集計し、学校および自治体様へ報告させていただきます

○こまめに電気を消したり、お風呂にすぐ入るようにしたい（小学校5年生）

□子どももしっかりと環境保全の学習ができるので、親としても助かります（保護者）

□個人でできることは小さなことでも、たくさん的人が意識し、省エネ行動に取り組めば大きな成果へつながり、未来が変わるかもしれませんと子どもが教えてくれました（保護者）

○お風呂はふたを閉めて、続けて入るようにしたい。またシャワーはこまめに止めるようにしたい（小学校5年生）

□これからも時々子どもと話しながら、振り返ったり目標を立てたりしたいです（保護者）

□省エネの工夫が、二酸化炭素をどれだけ減らせるかを数値化できるのが面白い
なるべく同じ部屋で、家族が過ごして親子で節電を心がけていきたいです（保護者）

○エアコンやお風呂、キッチンの設定温度を調整してみたい
それと、何を出すか決めてから冷蔵庫を開けるようにしたい
(小学校5年生)



※「みんなでエネチャレ」実施後のおうちアンケートへの回答結果から抜粋

先生の声

○本プログラム導入後の、先生向けアンケートに寄せられた声をご紹介します
○先生方から寄せられた感想やご意見に基づき、説明スライドやトークの改善を図っています

□事前学習で、家庭で使う電気・ガス・石油について調べさせたことで環境学習に取り組むきっかけができたよかったです。身近なことがSDGsにつながることがよく分かりました

□自分たちが少しでも意識を変えれば、地球温暖化をストップできるということに気づいたようで、授業後も、何ができるか、どのように取り組んでいくかなどの声が子どもたちから聞かれました

□説明がとても分かりやすく、内容も面白かったです。子どもたちも移動教室で電気を消すなど、さっそく実践していました。ありがとうございました

□減らせた二酸化炭素の量や、電気代をきっかけに
話し合い活動を行うと活発な意見交換になると
思いました



※「みんなでエネチャレ」実施後の先生向けアンケートの回答結果から抜粋

みんなで エネチャレ

～エネルギーの工夫でSDGs達成を目指すチャレンジ～

私たちのくらしがエネルギーに支えられていることに気づき、自分にもできる省エネ行動を
GIGA端末を使いながら考えます。グループワークを通して学ぶことで、
家庭でも主体的に取り組める行動につなげます

総合学習

社会科

家庭科

小学校
5・6学年生
対象



TOKYO GAS





自治体様との協働による学校出前授業

エネチャレとは？

- 自治体様と協働で実施するエネルギー環境教育の出前授業を開発しました
- 私たちのくらしがエネルギーに支えられていることに気づき、SDGsのゴール13「気候変動に具体的な対策を」の達成に向けて、自分できることを考え、毎日チャレンジし続いていることの大切さを、ワークシートやGIGA端末タブレットのエネチャレ大事典を使いながら、省エネの工夫(チャレンジ目標)を学びます
- 授業はグループワーク中心で進行します。みんなで考え、主体的かつ対話的な学びを通して生活に活かす力を育み、省エネ行動につなげることを目的とします

■対象学年：小学校5・6年生

■所要時間：1時間(講義+グループワーク)

■参考単元：○総合学習：エネルギー資源・環境学習SDGs

○家庭科：寒い季節を快適に、暑い季節を快適に

○社会科：我が国の工業生産／貿易／工業やくらしを支える資源・エネルギー

*なお本プログラムは、CO₂削減効果等を定量的に検証・実証できるものではありません

エネチャレの学習の流れ

